



稲川勝憲議員

ごみ処理

廃棄物分別収集のPR方法

住民説明会の実施と全戸チラシ配布

質問 平成21年4月から新たに始まる7種類11品目の廃棄物分別収集が円滑に行われるよう、引き続き資源循環型リサイクルの意識啓発を図るとあるが、実施まで期日がせまってきた。具体的なPRの方法を示せ。

沼崎町長 本年4月から実施するゴミの分別収集品目の拡大については、昨年7月から町内各地区で住民説明会を開催し周知を行っている。説明会の開催に当たり、行政区、自治会、衛生実践会などの組織を通じて、

都合の良い日程や会場を設定し、本年2月末までに38回開催し、延べ1800人に対して説明してきた。今後も、3月中に10回程度の

開催を予定している。
また、新しい分別区分の一覧表は、3月15日号の広報やまだの配布に併せて、全世帯に配布する。
4月からは、国の緊急雇用創出事業を活用し、リサイクル分別などの巡回指導やゴミの不法投棄監視パトロールに従事する不法投棄廃棄物監視指導員の雇用を予定している。

安全対策

田子の木地区の街灯増設 必要と判断、調整を図り設置

質問 町道織笠外山線の旧白石児童館前から田子の木バス停前までの約800メートル、街灯が5灯しか設置されておらず、住民の夜間通行に支障をきたしている。

また、本路線は田子の木地区から轟木小学校へ通う児童の通学路であり、特に日照時間の短い冬の下校時の安全確保が必要である。

さらに、旧白石児童館前から西へ100メートル付近の町道脇には、防火水槽

が設置されている。しかしながら、街灯の設置が無く、仮に夜間に災害などが発生した場合には、暗い中での作業となり、消火活動などにも大きな影響がでてくる。ことが懸念されることから、早急に街灯を増設すべきと思うが。
沼崎町長 現地を確認し、必要と判断したので、新年度における要望全体の中で調整を図りながら、設置していく。



資源ごみ回収の様子（外山地区）

町の考えを聞く